

成田市教育委員会会議事録

令和5年12月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和5年12月19日 開会：午後1時30分 閉会：午後2時47分

会 場 成田市役所6階 中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐 (書記)	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 片岡委員、日暮委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○11月15日 いのちの授業について

公津の杜中学校で開催された「命の授業」については、佐藤委員、片岡委員にもご出席いただき、前回の教育委員会議の席でもその時のご感想などもお伺いしたところですので、ここでは特にご報告はいたしません。こうした授業を通じて生徒の皆さんが命の大切さに触れ、自らも人の命を大切にする気持ちを持ち続けてほしいと思いました。

○11月15日 ふれあいる一む21ふれあい会食について

ふれあいルームの子ども達がみんな協力し合ってカレー作りをし、これを指導員さんたちと一緒に会話を楽しみながら食べる「ふれあい会食」がありました。私は午前中に行われた「命の授業」を参観したため、ふれあいルームに到着したときは、ほとんどの皆さんが食べ終わった後でしたが、私のためにカレーをよそって、一緒に会話を楽しんでもくれる生徒がいて、楽しく過ごせました。みんなで一つの目的に向かって協力し合う雰囲気ができているな、と感じた次第です。

○12月11日・12日 教育長・校長人事面接（一次）について

年度末の人事異動について、各学校の校長先生方の異動構想、学校の課題等をお聞きしました。どの学校も大変よく構想が練られており、特段心配する学校はありませんでしたが、事務所長とお話しする時は、話の要旨をもう少しはっきり示せるようにした方が良いと思われる個所についていくつか指摘させていただきました。共通する課題は、産育休者が多く、講師が多くなるということ。音楽専科など、音楽指導を主とする教員の確保が難しいということ。特別支援学級入級者が増えそうなのに指導者が十分確保できる見込みがない、ということなどです。

○12月14日 令和5年度第1回生涯学習推進協議会について

今回は委員の皆様の任期が今年度で終了したため、新たに委員を委嘱させて頂くこと。併せ

て会長と副会長の選任を行うこと。そして、「第3次成田市生涯学習推進計画」の進捗状況を報告し、ご意見を頂くため、この会を開催いたしました。会長、副会長については前任から継続して委員となられた 日暮 健 様、井田 正道 様に再び会長、副会長の任に就いていただくことになりました。なお、推進計画の進捗状況については特にご意見はございませんでした。

○12月19日 平成小学校学校給食共同調理場見学及び試食会について

先ほど、教育委員さん方と一緒に、平成小学校学校給食共同調理場での試食会を終えて帰ってきたばかりですので、ここでの報告は省略させていただきたいと思います。

市議会

○11月24日～12月13日 令和5年12月定例会について

今議会も教育に関する質問は多く出ましたが、それぞれ担当部署で事前に良く調査し、適切な答弁案を作成していただきましたので、本会議できちんと受け答えができたものと考えております。また、今回、補正予算の案件は1件ありましたがそれ以外の教育委員会の事務事業に関する議案はありませんでした。

○12月5日 教育民生常任委員会

今回は教育委員会からの提出議案は特になく、報告事項として「教育に関する事務の点検及び評価」について報告いたしました。議員からは、アレルギー除去食について、なぜ代替食ではなく除去食なのか、という質問と、弁当を持参するお子さんの弁当について、夏の暑さによる課題はないのか、といった質問がありました。アレルギー除去食は、アレルゲンを除去した食事ですが、アレルギー代替食は、除去した食べ物に対して、別の食材を代替して提供するものです。除去食より進んでいる対応となりますが、本市では、安全面を重視して、まずは除去食を提供しているものです。また、弁当も空調の利いた教室内で保管しますので特に問題はないものとお答えいたしました。

その他

○11月15日 叙勲伝達について

滑河小学校で校長を退職された 富澤 惇 先生が高齢者叙勲を受賞されたため、佐倉市のご自宅に伝達に行ってまいりました。先生はかなり以前に奥様に先立たれ、今はお一人で暮らしていらっしゃるとのことでしたが、隣のお宅に息子さんご一家が住んでおられるとのこと、朝と晩、必ず息子さんが来て下さるとおっしゃっておられました。これからもご健康でお過ごしくださることを念じて帰ってまいりました。

○11月16日 令和5年度印旛地区教育委員会連絡協議会研修視察及び意見交換会について

本年度の研修視察は白井市が担当し、白井市のプラネタリウムと、白井市にある中央競馬学校の視察をしてまいりました。私以外に3人の教育委員さんも参加されましたので、ここでは特にご報告は控えさせていただきますが、もし、委員さんから何かあれば後ほどお伺いしたいと思います。

○11月18日 令和5年度第2回下総高校学校運営協議会について

学校の1000か所ミニ集会と併せて実施された学校運営協議会に参加いたしました。園芸科、自動車科、情報処理科、3科それぞれの代表生徒による研究発表や資格取得状況等の報告がありました。そのあと生徒や保護者による学校評価の状況等も説明がありました。これまで学校の依頼によりこのコミュニティースクールの協議会委員として参加してきましたが、学校の要望はとにかく学校を存続させたい、そのために関係者の皆さんに協力してほしい。ということばかりでした。子どもの数が減っている中で市内に公立高校が4校あり、それぞれが独自性を発揮して生徒を集めなければ存続が危うい、校長先生の強い危機感が良く伺えた会でした。

○11月19日 成田市文化祭大会空手道競技の部について

毎年実施しているこの大会、私は開会式とその後の競技をいくつか参観してまいりました。まだ小学校1年生ぐらいの子が礼儀正しく一つ一つの技にもものすごい集中力を発揮して取り組んでいる姿に感銘を受けました。鍛えればここまでできる、という姿を見せてもらいました。本当に素晴らしいと感じました。

○11月22日 千葉県教育研究会学校図書館教育部会研究発表大会について

中台中学校で取り組んできた図書館学習の研究発表会に参加してきました。授業展開学級は4学級でしたが、それぞれ異なる教科でタブレットを巧みに利用し、学習している姿に感銘を受けました。特にビブリオバトルというほどではないのですが、学級内で生徒が読

んだ本の紹介とそれを聞いた生徒からの様々な質問、その回答、どれを聞いても質の高さと物おじせず堂々と自分の考えを述べる生徒の姿が印象的でした。中台中学校が学校を上げてこの教育に取り組み、素晴らしい成果を上げていることを県内の多くの先生方に知って頂けたことは大変すばらしい取り組みだったと思いました。

○11月23日 令和5年度文部科学大臣表彰生涯スポーツ優良団体受賞報告会について

市内の柔道協会が生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受けたということからその報告を兼ねた記念祝賀会があり、私も出席してまいりました。柔道は本市が初めて部活動の地域移行を行った種目でもあり、現に西中学校を会場として実施している地域クラブの指導者も参加されていることからこの祝賀会で柔道関係者の皆様から様々なお話を伺うことができました。世代を超えて一つのスポーツを続けておられる姿は本当に素晴らしいことです。今後、学校の部活動を地域クラブとして存続させるにはこうした方々の情熱と強力な支援が必要です。他の種目においてもこうした持続的な取り組みがなされることを期待したいと思いました。

○11月25日 八生小学校創立150周年記念式典について

成田小に続いて八生小の150周年記念式典にも招かれ、参加してまいりました。式典開始前、八生小の伝統である子ども達の下座が披露されました。また、式典の中でも各学年の発表があり、どの発表も子ども達の真剣な表情が印象的でしたし、大変素晴らしい発表でした。とりわけ6年生は3名の男子だけの在籍でしたが、その3名が力を合わせて堂々と発表する姿に感銘を受けました。創立150周年は通過点にすぎません。今後も引き続きこの学校の良さをいかんなく発揮して子ども達が健やかに成長することをお祈りしたいと思います。最後に参加者全員が校庭に出てメッセージ付きの風船を飛ばしました。広い青空にスーッと飛んで行った風船を見上げる子どもたちの笑顔が本当に素敵でした。

○12月1日 千葉ロッテマリーンズ成田後援会「2023年度会員と選手との交流の夕べ」
について

職務上ご招待を受けて参加させていただきましたが、公務として参加したわけではありませんで詳しくはご報告いたしません。毎年、千葉ロッテマリーンズの成田後援会が主催し、千葉ロッテの現役選手が招かれ、ファンとの交流会を実施しています。ここ数年はコロナの影響

で実施していませんでしたが久しぶりの開催となり、会場は大変盛り上がりおりました。

○12月2日 令和5年度一般社団法人成田市スポーツ協会祝賀会について

成田市スポーツ協会に加盟する各種団体及び個人の皆様が国や県のスポーツ団体から表彰されたことからこの祝賀会が開催されました。今回表彰された団体は成田市柔道協会と成田市弓道協会、他に個人表彰を受けた6名の方がおられました。いずれの方も長年ご自分の所属する競技団体で目覚ましい活躍をされたり、ご貢献をされた方々であり、高齢の方もおられました。皆さん大変はつらつとされておりました。今後も引き続き健康な身体を維持されますようお祈りしたいと思います。

○12月4日 千葉県教育庁北総教育事務所指導室訪問について（下総みどり学園）

今年度の指導室訪問がこれで最後になる、ということで、北総教育事務所長も参加されました。この日は教育委員さんも参加されていますので私からは特に報告する必要のないものと思いますので、これも委員さん方から何かあれば後ほど伺いしたいと思います。

○12月8日 第57回千葉県小・中・特別支援・高等学校書写・書道教育研究協議会について

印旛教育会館を会場として、県内の書写・書道の指導にあたっておられる方々が一堂に集い、研究発表会が行われました。教育会館でこうした県レベルの行事が行われることは稀だと思っておりますが、県内の様々な地域から多くの学校職員の皆様が成田においでいただいておりますので、成田の良さを少しでも知って頂ければ幸いです。

○12月8日 第29回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会出場激励会について

現在、八千代松陰中学校に在学中の3年生男子の2人が市内のジュニア・ラグビーフットボールチームの代表選手として全国大会に出場することとなり、その激励会を開催しました。2人とも出身は成田小学校ということでしたが、中学校はラグビー部のある私立の中学校に進学したようです。八千代松陰は高校でもラグビー部があり、代表となった2人とも進学してもラ

グビーを続けるということでした。今後の活躍に期待したいと思いました。

○12月10日 第93回印旛郡市駅伝競走大会について

93回という長い歴史を重ねてきた駅伝競走、今回は中学校女子の部で吾妻中学校が最終5区において、アンカーの選手がタスキを受け取った時の18秒差を逆転し、2位に11秒の差をつけて優勝しました。吾妻中学校は男子も3位に入賞しましたが、男女を問わず市内の学校が優勝するのは本当に久しぶりかもしれません。佐倉市の岩名運動公園にある陸上競技場をスタート、ゴールとすることから、特に最終ランナーは、ゴール直前、急な坂を上り切らなければならず、本当に大変です。最近はこの大会に参加する学校も少なくなっていますが、苦しさを乗り越えて頑張る姿はいつ見ても感動的です。

○12月17日 第34回青少年交流綱引き大会について

本年度は会場での応援がフリーになり、久しぶりに盛大に綱引き大会が開催されました。結果を先に申し上げますと、優勝が成田小学校の「成田King」、準優勝が公津小学校の「公津ビクトリー」、第3位が大栄みらい学園の「大栄レジェンズ」、第4位が公津の杜小学校の「公津の杜BLAZE」となりました。成田小学校は11年ぶりの優勝となりましたが、公津小学校は毎年優勝候補としてベスト4の常連校です。今年も少ない児童数の中、強さを発揮しました。この大会を見ていていつも感動するのは、こうして子ども達が、一つの目標に向かって力を合わせ、大会で自分たちのチームのために頑張ろうとする体験ができることです。勝敗の判定も単純で分かりやすく、誰にでも取り組めるスポーツとして親しみが持てるものでもあります。以前と違って、学校中心ではなく、青少年相談員が中心となって子ども達の指導を行っています。できれば限られた時間内でいいので、学校の先生方も子ども達と一緒に練習する機会があれば、と思ったりします。まあ、いろいろな考え方があって当然ですが、指導されている青少年相談員の皆さんもそれぞれが自分の仕事がある中で協力して下さっています。素晴らしい行事ですので今後も継続していくためのより良い方策を考えていきたいものです。

○12月18日 北総教育事務所令和5年度末人事異動面接（第一次）について

印旛教育会館で校長先生方と教育事務所人事担当者との面接が行われました。本来は事務所長との面接なのですが、この日は事務所次長との面接になりました。既に私との面談が済んでいますので、校長先生方の人事異動構想に変化はありませんが、教育事務所の人事担当者は、同一校7年だから、あるいは、新規採用後5年だから県の方針に従って異動対象とする。といった言い方で、校長先生の、「その方針はわかっているけれども、学校の状況を考えればあと1年は残留させたい。」というような思いが聞き入れられないような印象を与えていました。実際は市町村教育委員会担当者によく話し合っただけで決まっていますので、もうちょっと違った対応はできないものかと思ってしまう。どんなことで困っているのか、県教委として何か助けになることはできないのか、言葉のかけ方もそういう姿勢で応じてほしい。私はそう思いました。

この日、面接が終わりましたので、いよいよ異動事務が始まります。市内のある学校では8人も産休・育休者がいて、年度当初から講師8人が確定されている状況があります。しかしながら、聞くところによると北総地区で産休・育休者が200数十名もいるとのこと。その数だけの講師が見つけれない現状は、まさに教育の危機的状況です。そもそも今の学校の定数そのものがぎりぎりの人数で、学校職員が家庭の事情から休みを取りたくても職場の状況を考えたら休みにくい雰囲気がある中で、この事態です。不登校児童生徒が増えているのは、家庭状況の厳しさだけでなく、対応に追われる学校職員の多忙感もその要因の一つにあると考えられます。だからこそ、人事は大切なのです。子どもをしっかり指導できる人材を欲しいと、誰もが願っているのです。人事担当者はそのことをよくよく理解した上で、要望に対する言葉を考えてほしいと感じました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：最初に、本日午前中に伺いました、平成小学校学校給食共同調理場の見学と試食会からお話させていただきます。栄養教諭の瀬尾先生から食育について様々なお話をいただき、その中でも、知育・徳育・体育のベースにあるのが食育で、それがきちんとできてこそその教育であるというお話をお聞きし、瀬尾先生の栄養教諭としての矜持を強く感じたところです。また、給食で子どもたちの栄養の全てを賄えるわけではないのです

が、関われる範囲で研究し工夫していいものを出そうとされている様子が伝わってきました。実際、頂いた給食も想像していたよりも美味しく、努力されているのだなと感じました。

次に、印旛地区教育委員会連絡協議会の研修会については、これまで委員の立場で参加したことはありましたが、印教連会長の立場では初めての参加でした。視察した競馬学校では、毎朝の体重測定があり、非常に厳しい環境の中にありますが、夢を叶えるために、頑張っている子どもたちがいて、また子どもたちが頑張ることができるこのような場所があるということは良いことだなと感じました。

次に、下総みどり学園の指導室訪問についてですが、その中でありました3つのこととお話させていただきます。1つ目は、理科の授業でしたが、子どもたちが授業で必要なタブレットを所持していないことが判明しても、その場で機転を利かせ授業展開をされる状況を見ることができました。順調な授業ではなく、何かあった時の対応の仕方を見ることができたこともよかったです。このようにその場に合わせた対応ができる先生というのは、将来伸びることができる先生なのではと感じたところです。2つ目は、後期課程の英語ではALTの授業でしたが、子どもたちの目を見ますと、ALTの方を見て集中しており、一言も聞き逃すまいと授業に取り組んでいる様子を見ることができました。3つ目ですが、授業は活発で良かったのですが、生徒を呼び捨てにして呼んでいる先生がおり、今の時代はまずいので、直した方がいいですねと一緒にいた荒井副校長に申し上げさせていただいたところです。

片岡委員：私も、今日の給食の感想から申し上げます。本当に素晴らしく、栄養士さんが2か月前から献立を考えているというお話やプロジェクターを使ってとても分かりやすい説明をしてくださり、学校給食共同調理場に実際に来てみるといろいろと勉強になるなと感じました。また、栄養面だけでなく、彩りが考えられていて、子どもたちが見た目から食べたいと思えるような献立を考えていただいているということで、ありがたいなと感じました。ぜひ、家庭教育学級での見る機会、試食する機会が増えたらいいなと思いました。その他、地域の方への給食レストランも大好評であったということで、そ

れもぜひ続けていただければと思います。ただ、物価高騰が心配されているところで、給食費がすごく安く設定されているので、少し上げて良いのかなと思いました。

11月16日の印教連の視察の関係ですが、私は小見川のプラネタリウムに行ったことはありましたが、白井にもこんな素敵なプラネタリウムがあるということを知ることができました。館内のアナウンスもとてもわかりやすく説明があったり、この時期はクリスマスに合わせた企画があるとのことで、季節に合わせた星空を見ることができるといことはいいことだなと思いました。また、競馬学校では、厳しい中でも、全国から生徒さんが集まってくることを聞かせていただき勉強になりました。

下総みどり学園の訪問では、先生方が一生懸命創意工夫されていて、子どもたちも集中して授業に向かっている姿を見ることができてよかったです。

また、産休育休者が増加しているとのことですが、読み聞かせ等でお邪魔しますと校長先生や教頭先生が授業に出ていて職員室が空っぽになっているということが多々あるので、本当に現場の先生方は対応に追われているのではないかと感じているところです。

その他、先日、公民館講座の講師をさせていただきましたが、参加者の中には初めて公民館に足を踏み入れたという親子さんもおりましたので、公民館を利用する第一歩としてこういった講座があることはとても良いことであるなと思いました。

日暮委員：親子方式による共同調理場という言葉は以前から聞いてはいたのですが、初めて実際に給食を作る場所を見たり、また給食の様子について教えていただきました。親子方式の施設は充実しており、また、子どもたちに充実した食の提供がなされている様子を見ることができました。併せて、子どもたちへの食育を行ったり、家庭教育学級や保護者への啓発、また、地域の方向けの給食レストランを行うなど、様々な取り組みをしていただいているととても良いなと思いました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号「成田市立学校事務職員の標準的職務に関する規程の一部改正について」

林学務課長：

平成31年1月25日、中央教育審議会において、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」が取りまとめられました。答申では、学校における働き方改革を進めるにあたり、「学校及び教師が担う業務の明確化・適正化」を確実に実施するため、文部科学省が取り組むべき方策として、「学校・教師が担うべき業務の範囲について、学校現場や地域、保護者等の間における共有のため、学校管理規則のモデルを周知」することとされました。答申に基づいて、令和3年3月1日、千葉県教育委員会から「事務職員の標準的な職務の明確化について」通知されたことから、本市においても学校の事務職員の職務内容を整理し、成田市立学校事務職員の標準的職務に関する一部を改正しようとするものです。

《議案第1号に対する質疑》

日暮委員：資料を見ますと、学校経営においては、企画運営委員会への参画などが具体的に示されており、とてもわかりやすくなりましたし、また、学校事務の共同実施のことが書かれておりましたので、これも事務職員が一生懸命されていることなのでとても良いなと思いました。

その中で、学校運営協議会との連絡調整等とありますが、年度当初に協議会のメンバー一覧を頂いたのですが、どの学校も教頭先生のお名前はありましたが、事務職員の名前はありませんでしたので、その中でこの連絡調整の内容はどのようにやっていくのか、また、連絡調整等の等の内容について、具体的に教えてください。それと、学校事務の共同実施に関する事の内、学校運営に関する支援とありますが、具体的な内容について教えてください。

林学務課長：今回の改定は、事務職員の仕事の明確化として取りまとめております。

学校運営協議会への関わりといたしましては、学校の仕事の中で、校長・教頭だけでなく、事務職員にも担っていただく部分がありますので、そういった意味で連携し協力してやっていこう、ということでこういった表現となっております。

共同実施につきましても、共同実施自体は事務職員で推進しているところではありますが、その中で学校運営に関する支援というところで課題が出た際には、協力して対応していく、ということでこのようにまとめております。

日暮委員：この改正内容は、事務職員は知っているのでしょうか。

林学務課長：今回、令和3年3月に通知されたものを令和5年度に改正をしようとするもので、各市町においてもどう反映させていこうかと調整を図ってきました。本市におきましても学校事務研究部と連絡調整を図りながらまとめてきたという経緯がありますので、今回お示しした内容は事務職員の意見を反映させながら取りまとめてきたものとなります。

関川教育長：他にご質問等ございますか。

特にないようですので、議案第1号「成田市立学校事務職員の標準的職務に関する規程の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第2号「配偶者からの暴力防止及び被害保護等に関する法律の改正に伴う成田市学校給食センター管理運営規則の一部改正について」

福島学校給食センター所長：

本市では、子育てに対する経済的な負担の軽減を図ることを目的として、成田市学校給食センター管理運営規則に基づき、昨年度から実施している第3子以降の給食費無料化に加え、本年4月から新たに本市独自の取組として、市立の中学校3年生及び義務教育学校の9年生、並びにひとり親家庭の児童生徒に係る給食費を無料としているところです。

このうち、ひとり親家庭に関しては、児童生徒の保護者の配偶者が、「配偶者からの暴力防止及び被害保護等に関する法律」に基づく命令を受けているに場合においては、ひとり親家庭の児童生徒と同様に給食費を無料とすることとしています。

この度、同法が改正され、第10条第1項で定めている保護命令のうちの「退去命令」について、新たに「退去等命令」として第10条の2に定められることに伴い、同法第10条第1項を引用する管理運営規則第7条第5項第3号について、当該第10条の2を加える一部改正をしようとするものです。

改正については、裏面の右側改正案のとおり、第10条の2が追加になったものです。

第10条の2の内容ですが、DV被害者の生命または身体に重大な危害を受ける恐れが大きいときは、裁判所が被害者の申し立てにより、相手方に対して、住居からの退去や、はいかひの禁止を命じることができるものです。

《議案第2号に対する質疑》

片岡委員：この改正をするということは、実際にこの該当者がいたということでしょうか。

福島学校給食センター所長：成田市でそういうことがあったということではなく、法律の規定が変更されたことに伴い、本市の規則も併せて改正しようとするものです。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第2号「配偶者からの暴力防止及び被害保護等に関する法律の改正に伴う成田市学校給食センター管理運営規則の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第3号「令和5年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」

林学務課長：

本表彰は、印教連表彰規程により、印旛地区の教育学術に功績のあった個人に対して表彰するものです。別紙資料2にあります「印旛地区教育委員会連絡協議会表彰規程」第2条1項「印旛地区に、長期にわたり勤務し、印旛教育に多大に貢献した者」同条2項「有益な研究考案、または発明をし、印旛教育に貢献した者」同条3項「前各号に掲げる者のほか、表彰することが適当と認められる功績があった者」に該当する者を本市教育委員会として推薦しようとするものです。

議案の通り、2条1項に該当する者として7名、推薦を提案したいと思います。

それでは、推薦候補者の功績についての概略を説明します。議案の2ページをお開き下さい。

1番 成田小学校 君塚 信宏 校長です。

平成元年、成田市立成田小学校教諭。県内小学校教諭、教育庁指導課指導主事、成田市立公津の杜小学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、平成28年、印西市立大森小学校長。その後、千葉県総合教育センター主席研究指導主事、北総教育事務所主席指導主事、同指導室長を歴任し、令和4年から現職。この間、印教研社会科研究部幹事、研究副部長、印教研会長を務め、教育振興全般の推進に大いに尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

2番 新山小学校 藤田 総 校長です。

昭和63年、佐倉市立臼井中学校教諭。印旛管内中学校教諭、成田市教育委員会指導主事、成田市立東小学校教頭、成田市立下総小学校、中学校教頭を経て平成29年、成田市立久住小学校長。その後、成田市教育委員会教育指導課長、成田市立下総みどり学園校長を経て令和4年から現職。学校経営に手腕を発揮し、児童生徒の育成、教職員の指導力向上に尽力されました。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、算数科・数学科教育の推進、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

3番 玉造小学校 塚本 武 校長です。

昭和62年、佐原市立佐原小学校教諭。北総管内小学校教諭を経て、平成29年、成田市立大須賀小学校教頭。その後、成田市立加良部小学校教頭を経て令和3年から現職。「知・徳・体の調和のとれた教育活動を家庭・地域・近隣校と連携して推進する」を基本方針に、児童の育成、教職員の指導力向上に手腕を發揮されました。この間、学校経営、次世代を担う教職員の育成に実績を上げ、特に体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

4番 中台小学校 西本 貴久江 校長です。

昭和61年、旭市立干潟小学校教諭。北総管内小学校教諭を経て、平成28年、成田市立本城小学校教頭。その後、成田市立大須賀小学校教頭を経て令和3年から現職。「かしこい子どもの育成」を教育目標に掲げ、その具現化に向けて、児童生徒の育成、教職員の指導力向上に手腕を發揮されました。この間、学校経営並びに地域と連携した教育活動の充実に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

5番 成田中学校 濱谷 昌人 校長です。

昭和63年、佐倉市立臼井中学校教諭。印旛管内中学校教諭、成田市教育委員会指導主事、成田市立公津の杜中学校教頭、千葉県立佐倉東高等学校教頭を経て成田市立玉造中学校長。その後、令和2年から現職。平成17年に千葉県教育奨励顕彰、平成19年に文部科学大臣優秀教員表彰を受賞されました。学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

6番 公津の杜小学校 吉村 久美子 教諭です。

昭和62年四街道市立四街道小学校教諭。印旛管内小学校教諭、千葉県聾学校教諭、成田市教育委員会指導主事を経て、平成30年から現職。この間、成田市教育推進特別支援教育研究部研究部長、成田市心身障害児教育支援委員会委員を歴任されました。児童生徒一人一人の教育的ニーズを理解し、関係機関と連携を図り、適切な指導と必要な支援ができる特別支援教育のために尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

7番 三里塚小学校 清水 麻里子 養護教諭です。

昭和62年成田市立久住第一小学校養護教諭。印旛管内小学校養護教諭、成田市教育委員会指導主事を経て平成31年から現職。この間、平成23・24年度には印旛郡市養護教諭会副会

長、平成25・26年度には印旛郡市養護教諭会会長を務められました。勤務校での歯科指導をはじめとする学校保健活動の充実と印旛郡市養護教諭会を会長として導き尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

《議案第3号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特になさいますので、議案第3号「令和5年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

(2) 報告事項

報告第1号 「令和5年度第2回成田市学区審議会報告について」

林学務課長：

令和5年11月7日午後2時30分より今年度第2回目の学区審議会を開催いたしました。本審議会では、議案2件について諮問し、報告事項1件について報告させていただきました。

まず、「議案第1号 令和6年度 指定学校変更・区域外就学の要件について」であります。毎年、様々な課題があることから、今後は次年度の要件については学区審議会において諮問することといたしました。今回諮問したのは、指定学校変更・区域外就学の許可基準「10 部活動によるもの」について、これまで通学距離がもっとも近い学校を「最寄の中学校」とし、変更後の学校として指定していたところですが、この原則を維持しながらも、指定学校の変更を申し出た児童の意向等を踏まえながら、通学に無理が生じない範囲内で教育委員会が就学校を指定することができるよう、運用を変更するということでもあります。このことにつきましては、委員の皆様から諮問の通り答申をいただきました。委員の皆様からは「部活動による指定学校変

更を行った生徒は、卒業までその部活を続けているのか」「指定学校変更について議案にするのであれば会議の時期を変えた方がよい」というご質問やご意見をいただきました。

次に「議案第2号 宗吾2丁目の通学区域について」であります。現在宅地開発が進んでいる都市計画道路北側における宗吾2丁目の一部の通学区域について、児童生徒の安全を考え、公津の杜小学校、公津の杜中学校の通学区域とすることについて諮問いたしました。このことにつきましては、委員の皆様から諮問の通り答申をいただきました。委員の皆様からは「本来の学区である公津小、西中に行った場合、教室を増やしたり、校舎の改築が必要になったりすることはあるのか」「当該地区の住所は宗吾2丁目で決定なのか」というようなご質問がありました。

次に、「報告第1号 指定学校変更・区域外就学の状況について」であります。令和5年10月1日現在の、指定学校変更・区域外就学の状況について報告いたしました。令和5年10月1日現在、指定学校変更・区域外就学をしている児童生徒数の合計は633人でした。

また、小・中・義務教育学校について、現在から令和11年度までの児童生徒数の推移を報告しました。主な意見としましては、「指定学校変更の要件は明確にした方がよい」とのご意見をいただきました。

《報告事項第1号に対する質疑》

特になし

報告第2号 「第3次成田市生涯学習推進計画の進捗状況について」

野村生涯学習課長：

本計画は、4つの基本施策と取組事業を設けて、それぞれに主な実施事業と施策ごとの重点目標を設定しております。

A3の資料「第3次成田市生涯学習推進計画進捗状況一覧」の1ページから2ページ中段までをご覧ください。

施策1「学びのきっかけとなる機会の提供」を実現していくための、具体的な主な実施事業の内容と実績となります。

昨年度に比べると徐々に参加者が戻ってきた講座などもありますが、コロナ以前のような活気は戻っておらず、実績値としてはかなり厳しい状況となっております。

主な事業をご説明いたします。

3の「明治大学・成田社会人大学運営事業」でございますが、高まる市民の学習ニーズに対応するため、明治大学と連携し、18歳以上を対象とする講座を開設しております。

令和4年度は、国際社会課程を対面形式とし、ライフマネジメント課程は対面での講義とオンラインミーティングツールのZoomを活用した講義のどちらでも受講可能な形式としました。

定員を200名に設けて準備いたしましたが、実績としましては、国際社会課程が38人、ライフマネジメント課程が16人、合計54人となりました。

なお、コロナ禍前の令和元年度は、対面式ではございましたが、132人の受講者数となっております。

続きまして、2ページの中段をご覧ください。

施策2「学校・家庭・地域が連携した体制の構築」を実現していくための、具体的な主な実施事業の内容と実績となります。

①「地域ぐるみで子ども育む体制づくり」の1の「放課後子ども教室推進事業」をご覧ください。

放課後や週末等に小学校の余裕教室や校庭等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域や国際医療福祉大学などの参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を行っております。

実績値は、その活動に取り組んでいただくボランティア数としておりますが、令和4年度は、975人となり、昨年度に比べると倍増しております。

令和元年度の実績値は、1,167人となっております。

続きまして、3ページの上段から中段をご覧ください。

施策3「様々な体験活動の充実」を実現していくための、具体的な主な実施事業の内容と実績となります。

①「青少年の体験学習環境の整備」の1の「青少年健全育成事業」をご覧ください。地域にお

ける青少年活動を活発にし、青少年の健全育成を図るため、青少年育成活動の支援などを行っております。

令和3年度はすべてのイベントが中止となりましたが、令和4年度の各イベント等の参加者数は、1,056人となりました。

令和元年度の実績値は、3,488人となっております。

続きまして、同じページの下段をご覧ください。

施策4「学んだことを生かせる機会の充実」を実現していくための、具体的な主な実施事業の内容と実績となります。

こちらの施策は、学んだことを生かしていくための様々な交流活動等を展開しておりますが、令和4年度の市民文化祭の参加実績は4,866人となりました。

以上が、主な事業の進捗状況となります。

続きまして、資料「第3次成田市生涯学習推進計画 重点目標進捗状況一覧」をご覧ください。

施策ごとに重点目標を設定しており、令和4年度の実績となります。

それぞれの施策に対して、二つまたは一つの重点目標を設定しておりますが、未だ新型コロナウイルス感染症の影響から回復できておらず、ほとんどの指標が目標値に遠く及ばない状況となりました。

施策1の指標、「学生や働く世代を対象とした生涯学習講演会の参加者数」は、目標値500人に対して実績は259人。指標、「情報発信サイトのアクセス数」は目標値20,000回に対して、実績値は12,041回となりました。

情報発信サイトにつきましては、令和5年2月にサイトのリニューアルを行い、スマートフォンからでも閲覧しやすくなり、SNSとの連携も可能になったことから、今後アクセス数も増加していくと考えております。

施策2の指標、「家庭教育学級参加者数」は、目標値10,700人に対して、実績値は3,287人。指標、「学校支援のための地域コーディネーター数」は目標値29人に対して、実績値は16人となりました。

家庭教育学級につきましては、未だ大人数で集まることに抵抗がある方が多かったため、目

標値に大きく及びませんでした。幼保4学級、小中義務教育学校で30学級を開設することができました。

施策3の指標、「こども体験学習セミナー参加者数」は目標値300人に対して、実績値は179人。指標、「体験形式の図書館講座の参加者数」は目標値72人に対して、実績値は110人となりました。

図書館講座では、一般対象の講座でもワークショップ形式を取り入れ参加者の増加につながったということです。

施策4の指標、「生涯大学院生及び卒業生との連携事業参加者数」は目標値100人に対して、実績は25人となりました。

令和4年度は、生涯大学院生25人が参加し、公津の杜小学校で昔の遊びを通して交流することができました。

このように、徐々にイベントの数や参加者数は回復してきておりますが、生涯学習活動については、対面での事業が基本となるため、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていた令和4年度は、ほとんどの事業で目標値を達成することはできませんでした。

なお、こちらの結果につきましては、12月14日に開催されました生涯学習に関する審議会である「成田市生涯学習推進協議会」にも報告をいたしました。

《報告事項第2号に対する質疑》

片岡委員：学生や働く世代を対象とした生涯学習講演会では、どのような内容の講演があったのでしょうか。

野村生涯学習課長：スカイタウンで年に2回開催しており、様々な分野の講師をお招きし、お話をいただいております。昨年度は、ユーチューバーでボイストレーナーのおしらさんやキャンプ芸人の方から、面白いお話であるとか、ご自身の人生経験に基づいたお話がありました。

片岡委員：家庭教育学級についてですが、平日昼間の開催で参加者が少ない状況にあり、講座のあり方というか、参加してみたいと思う内容にするのがすごく難しいなと感じています。この講座の発端はどういう意図で立ち上げているのでしょうか。

講座の内容も各学校で様々で、ここで学んだことを家庭に持ち帰り活かして欲しいということであったり、ヨガやフラワーアレンジメントといったお母さんたちのリフレッシュ講座のようなもの、いのちの授業みたいなものを親も聴くという講演会的なものがあるなど、とても良いものがあるのに参加者が少なくもったいないなと感じています。

関川教育長：基本的に主催は家庭教育学級の保護者であり、自主的に活動されるものですので、学校だけで子どもたちを育てるだけでなく、家庭でもこういう育ちができるといいですねという勉強をしましょうということで始まっています。また、参加者が少ないということで、今お話があったように、自分たちのリフレッシュも含めて、また会に集まった人たちの横のつながりや連携を強めてお互いに困りごとを相談しあったり、子育てに役立つ話ができたらいいなということでこういった家庭教育学級が続いております。中心は保護者の方々ですので、いつ開催するかも教育委員会ではなくそのグループで決めておりますので、いろいろと工夫してやっているとは思いますが。

日暮委員：推進計画の目標数には達していないとお話がありましたが、3年度に比べれば4年度は戻ってきているようですので、それぞれ市民が自分の状況に合わせて徐々に動き出してきているのかなと感じております。5年度もまた少しずつ上がってくるのではと思っております。

また、推進計画の25項目のうち18項目を教育委員会がされていてご苦労を察しますが、それが市民にとっては大変ありがたいことなので今後ともよろしく願います。

6. その他

片岡委員：図書館の関係ですが、「中高生がつくる！図書館プロジェクト」という講座をされる
とのことですが、学校への周知はどのようにされているのでしょうか。また、申し込み
状況はいかがでしょうか。

高仲図書館長：市内の中学校、高校にポスターを配布し、主に図書室での周知をお願いしていま
す。興味を示している方はいるが、受験のタイミングなどがあり、現時点では申し
込みいただいておりますが、今後、昨年度の講座でボランティアをお手伝いされ
た方ですとか、今年度の青少年の講座で西陵高校とコラボしたりしておりますの
で、そういった関係から個別にお声がけをしていきたいと考えております。

片岡委員：今の図書館のどの辺のスペースに作る計画なのか、わかる範囲で教えてください。

高仲図書館長：2階に書架と閲覧用の座席を予定しています。座席は個人用とグループでも使
えるものを予定しております。

片岡委員：学習スペースにもなるのでしょうか。

高仲図書館長：そのように考えております。

片岡委員：また終わりましたら様子をお聞かせいただきたいと思います。

7. 教育長閉会宣言